



身長・体重の実測が困難なときはどうしてる？

寝たきりや動けない患者さんでは、通常的身長・体重計を用いた実測がどうしても困難なことがあります。当院ではそのような患者さんに対して以下の**推測値**を用いて算出しています。



身長・体重がないと必要エネルギーや薬の投与量を決めるのに困ってしまうなあ…

身長

男性： $64.02 + (\text{膝高cm} \times 2.12) - (\text{年齢} \times 0.07)$ 誤差±3.43cm

女性： $77.88 + (\text{膝高cm} \times 1.77) - (\text{年齢} \times 0.10)$ 誤差±3.26cm

体重

男性： $1.01 \times \text{膝高cm} + \text{上腕囲cm} \times 2.03 + \text{上腕三頭筋皮下脂肪厚mm} \times 0.46$
 $+ \text{年齢} \times 0.01 - 49.37$ 誤差±5.11kg

女性： $1.24 \times \text{膝高cm} + \text{上腕囲cm} \times 1.21 + \text{上腕三頭筋皮下脂肪厚mm} \times 0.33$
 $+ \text{年齢} \times 0.07 - 44.43$ 誤差±5.11kg

(宮澤らの式より)

膝高



90度に保ち足の「かかと」から膝上部までの長さを測定する



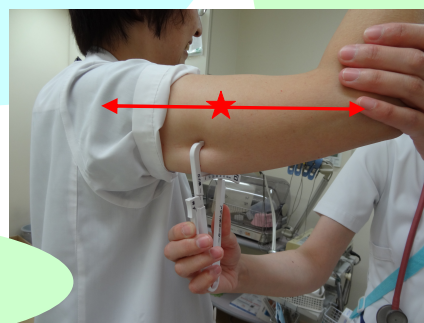
甲骨肩峰突起と尺骨肘頭突起の中間点★の部分を実測する

上腕囲



利き腕、麻痺がない方の腕で測定する

上腕三頭筋皮下脂肪厚



体重だけでなく、上腕囲・上腕三頭筋皮下脂肪厚より骨格筋量の評価もできたりします

アディポメーター
(皮下脂肪厚計)



インサーテープ
(周囲長計測メジャー)



このような器具を使用します。誤差を生じやすいため同じ測定者で行うなどの工夫が必要です。